

NHK総合テレビのエンターテインメント・教養番組「ブラタモリ」における実験の役割

The role of experiment in NHK's entertainment / educational program "Buratamori"

*林 信太郎¹

*Shintaro Hayashi¹

1. 秋田大学大学院教育学研究科

1. Akita University Graduate School of Education

ブラタモリとはどういう番組か？

「ブラタモリ」は NHK総合テレビで2008年から放送されているエンターテインメント・教養番組で、その視聴率は時として15%を超える。タレントのタモリ（以下タモリさん）がNHKの若手アナウンサーとともに各地を“ブラブラ”歩きながら謎解きをし、様々な発見をする。また、「案内人」という解説者の問いかけにより番組が進行する。謎解きの「お題」には、しばしば地質学や地理学に関連したものが登場し、地球科学のアウトリーチに大きな効果を発揮している。講演者は「#81 十和田湖・奥入瀬～十和田湖はなぜ“神秘の湖”に？～」メインの案内人として登場した。

「ブラタモリ」：私の印象と案内人の責任

私の印象：番組中で見せるタモリさんの地球科学に関する広い知識は本物と強く感じた。また、タモリさんの発見能力、対象をじっくりと思考する真摯な態度は、たいへん印象に残った。また、案内人の私にコンタクトを取る以前に、担当ディレクター（地球科学の非専門家）は、文献から得られる情報はほとんど調べつくしていた。

案内人の責任：案内人には番組の科学的妥当性を担保するという社会的責任がある。「ブラタモリ」は地球科学者の視聴率も高く、常に誤りがチェックされている。実際、「ブラタモリ」と同時進行で、ツイッターで批判的意見をつぶやく地球科学関係者は多いし、自分でもたいへんそれを楽しんでいる。しかし、自分が案内人の場合はそのプレッシャーがことごとく自分にかかってくるのである。

番組の正確性の担保のため、案内人は調査に多大な時間をかける。講演者の場合、十和田湖や奥入瀬に関連した書籍や論文を100編以上参照した。また、案内人はこの他にロケハンやリハーサルの作業にも付き合っている、番組の正確性を担保する。現場の確認（ロケハン）のために合計4日間、現地での（タモリさん抜きでの）リハーサルや最終確認のために3日を要した。

実験とブラタモリ

ブラタモリの番組内ではしばしば実験が解説の手段として用いられる。「#81 十和田湖・奥入瀬～十和田湖はなぜ“神秘の湖”に？～」では、カルデラ湖のでき方をココアとコンデンスミルクを用いて説明した。ココアの山の中にコンデンスミルクで見立てたマグマを置き、それを下から抜き取ることでカルデラ陥没を起こすという実験である。この実験は小中学生を対象に何度も試行したことがある。これまでの授業経験から、言葉での説明や図解でカルデラのでき方を理解させることが難しいことはわかっていた。そのため、番組にこの実験は必須だった。視聴者やタモリさんに、カルデラのでき方について納得させるだけではなく、ココアでできたカルデラの形状の観察も番組のその後の部分に繋がった。

ブラタモリで実験が採用されるための必要条件？

じつは提案はしてみたが、番組に採用されなかった実験も多い。その1例として「バリバリ溶岩実験」がある。先端を溶融したガラス棒を水につけ水冷破砕させるという実験である。ブラタモリの他の回の番組で2度提案したが、どちらも不採用だった。

「パリパリ溶岩実験」不採用の理由として考えられることは、「パリパリ溶岩実験」は1) ビジュアル的に地味である、2) ガラスと水という素材はあまり印象的ではない、の2点が挙げられる。もちろん、単に番組の編集作業の過程で提示する時間がないため削られただけという可能性もある。

ブラタモリとアウトリーチ

地球科学分野におけるアウトリーチ活動は、1) 研究資金の獲得；2: 後継者の育成；3: 一般社会に認知してもらうことの3点で重要である（鎌田，2004）。そのために地球科学で得られた成果を科学者の側からわかりやすく発信していく必要がある。

ブラタモリのアウトリーチ効果は2つある。第1にブラタモリは多くの国民が視聴し、科学者の努力では到達し得ない多くの国民へのアウトリーチが可能である。第2に科学者に対する教育効果が大きいことがあげられる。ディレクターは番組をわかりやすくするために徹底的に努力し、科学者の側はそこに啓発される。また、担当ディレクターとのやり取りの中で、わかりやすさと正確さを両立させる方法を体験的に学ぶことができる。

ブラタモリの案内人になることは、多大なエネルギーと時間を使うことである。しかしながら、その大きなアウトリーチ効果を考えると（声がかかった）研究者は積極的に応じるべきであろう。

キーワード：ブラタモリ、実験、アウトリーチ

Keywords: "Buratamori", experiment, outreach